

# 地域おこし協力隊が行く

Vol.6

November 2017

## 10月就任！新人協力隊員 大久保昌平です

湯の丸山に登山で訪れた時、山頂からの景色の素晴らしさはもちろんですが、市内のどこでも感じられる景色の素晴らしさに魅了されました。また、市内のワイナリーを訪れ、ワイナリーの「特色」や「こだわり」といった個性的なワイナリー展開に精力的に取り組んでいることを目の当たりにしました。

登山、温泉、自然、畑で育つ様々な野菜や果物。そして、ぶどうが作り出すワインなど、私は東京都の出身ですが、多くの魅力ある東御市に魅了され、東御市を訪れていました。

東御市を訪れるにつれて、東御市を訪れる方が増え、交流や循環のあるまちづくりや地域おこしにかかわらせていただきたい、その思いが深まり、今の私があります。



「また訪れたい・また味わいたい・そして新たな魅力を見つけたい」、そんな東御市を目指して、私自身が東御市に溶け込み、かかわらせていただく中で、東御市の皆さんとともに、「東御のよさ」をひろげる観光プロモーション活動に全力で取り組みます。

## 今年仕込んだワインは？ (鮎名星児隊員)

「今年はいいだ。」

知り合いのワインの造り手の方がそうおっしゃっていました。ワインぶどうの収穫時期に好天が続き、非常に良い状態でワインに仕込むことができているようです。

「千曲川ワインバレー奇行」というタイトルでワインを紹介するまんがを描いてありますが、取材をしていると苦しい話も多く聞かれます。特に天候に関しては人が太刀打ちできない話が多く、自然の中でモノづくりをすることの厳しさをうかがい知ることができます。

今年は5月頃の雹害、8月の日照不足と不安要素がありましたが、それら乗り越え無事良い状態で収穫までたどり着けたようです。そんな話をする造り手の方は非常に良い笑顔でした。リアルタイムで体験した気候を踏まえてワインの味が楽しめるのは地元住民ならではの、今仕込んだワインは来年市場に出てくるのでしょうか。皆さん「買い」だそうですね。

(追記)と思いきや10月中旬は雨ばかり。天気は本当にわからない！



今月の  
クローズアップ!!

## みんなどうしてる？

### こだわりのハロウィンかぼちゃ

駅前エリアをもっと盛り上げたい！と菊地夏代隊員が協力した「田中まちなかハロウィン」は、今年で2回目。男性職員らの先頭に立ち、御牧原から駅前までカボチャを運び、レイアウト。軍手に長靴がキマる男らしいです。このかぼちゃは、千葉の某テーマパークにディスプレイされているものと同じ農家さんのものです！



### 眠る時間も惜しんで、全力で芸術祭！

「寝る時間がない！」と芸術祭事務局の森健太郎隊員。目もうつろな彼を心配する声からあがるほど多忙を極めました。今年の芸術祭のテーマは「Life is Art!」。有賀慎吾隊員は「東御の自然、歴史、地元の暮らしの要素を取り入れた作品が多く、テーマに沿った素晴らしい芸術祭となりました。ワークショップやボランティアへの参加、ありがとうございました」

